

ヘリコプターの養育と 自己決定感及び精神的健康との関連

——親子関係に対する文化的価値観の差異に着目して——

坂尾 美羽

問題

青年期から成人期初期は、親から心理的に自立し、対等な親子関係を築く節目の時期と言える。青年は中学、高校生の時期に自立に重点を置き、高等教育機関への進学や就職を行う時期には、親から離脱し依存を払拭する心理的自立を達成し、対等な親子関係を築く (小高, 2008)。こうした過程は日本においてのみ見られるものではなく、例えば米国でも、青年期中期から成人期初期にかけての親子の主要な課題は、独立と相互性の交渉であることが示されている (Hill, 1986)。

ヘリコプターペアレント

Walker & Nelson (2012) によると、高校生から大学生の、心理的自立を完了する時期にあたる青年は、自己決定感を強く求めるようになる。しかし近年、欧米においては、自立の過程で必要となる自己決定感の発達を阻害する「ヘリコプターペアレント」の存在が注目されている (Schiffirin et al., 2014)。ヘリコプターペアレントは、我が子を常に気にかけて、何かあるとすぐに駆け付けて代わりに問題を解決する親の姿が、いつも子どもの頭上を飛び回るヘリコプターを連想させたことに由来する。ヘリコプターペアレントは、青年から大人への過渡期の子どもに対する過干渉と過保護で特徴づけられ、子どもがすべき決定に多く介入する親のことを指す。それによって子どもは、自立や、自己決定感、自己効力感を得る機会を失う (Lowe & Dotterer, 2017; Walker & Nelson, 2012)。ヘリコプターペアレントに関する研究は、世界的に行われており、それらの研究の多くで、ヘリコプターの養育は大人への過渡期にある青年にとって発達の不適切であることが示されている (Kouros et al., 2017)。

日本においても、ヘリコプターペアレントにあたると思われる事例が、大学の学生相談室等から報告されており、学生生活や就職活動に対する親の過度な介入によって、青年の自立や自主性が阻まれている可能性が懸念されている (高石, 2011)。そのため、日本においても、ヘリコプター

ペアレントによる青年への影響は無視できず、実態を明らかにする必要がある。しかし、日本において、ヘリコプターペアレントに関する研究は未だ行われていない。

ヘリコプターペアレントによる影響の文化差

ヘリコプターペアレントに関する研究が多く行われる一方で、ヘリコプターペアレントが青年に与える影響の文化差を検討した研究が少ないことが問題視されている (Jung et al., 2019)。Jung & Hwang (2020) は、ヘリコプターの養育の影響が、文化的背景の違いによって異なる可能性を示唆しており、そのひとつに、アジアと欧米の家族あるいは親子関係に対する価値観の差異を挙げている。

アジアと欧米の青年期の親子関係の違いについて Rothbaum et al. (2000) は、日本の青年は、親子の調和的關係を重視し、親子関係の安定や継続に、より価値を置く一方、アメリカでは、自立や個人に価値が置かれ、青年は親からの自立を必要とし、その中で親子関係から友人関係に重きを置くようになるとした。

こうした親子関係に対する価値観の違いは、ヘリコプターの養育の解釈の仕方に影響を与えている可能性がある。先行研究によると、欧米では、個人や自己決定感、自立が重視されるために、過度な干渉を行えば、子どもは、出すぎていると感じたり不快に思ったりするという (Cline & Fay, 1990; Nelson, Walker, Christensen, Evans, & Carroll, 2011)。翻って、日本では、個人や自立よりも親子の調和的關係が重視され、親子関係の安定や継続に価値が置かれている (Sugimura et al., 2009)。そのため、ヘリコプターの養育を受けても、欧米ほど顕著な影響は受けず、その養育態度に寛容な可能性があることが予測される。

目的

本研究の目的と仮説は以下の2つである。

一つ目の目的は、日本において、ヘリコプターの養育がどのような役割を持つかについて検討することである。具体的には、ヘリコプターの養育と、自己決定感、自己効力感、抑うつそれぞれの

との関連を検討する。ヘリコプターの養育と自己決定感、自己効力感には負の関連、抑うつには正の関連が見られると予測する。

二つ目の目的は、ヘリコプターの養育と親子関係に対する日本的な文化的価値観との関わりについて検討することである。具体的には、ヘリコプターの養育と親子関係に対する文化的価値観の交互作用を検討する。ヘリコプターの養育を受けている人のうち、親子関係に対する価値観の得点が高い人、つまり親子間の調和的な関係を重視する価値観を持つ人は、ヘリコプターの養育と自己決定感、精神的健康との相関が小さくなる、あるいは相関が見られない、と予測する。

方法

調査対象者

オンライン調査に参加した 18~29 歳の学生及び社会人 588 名を対象とした (男性 297 名, 女性 286 名, その他 5 名, $M=25.3$ 歳, $SD=3.21$)。

質問項目

(a) **ヘリコプターの養育**: ヘリコプターの養育尺度 (Walker & Nelson, 2012) を用いた (5 件法, 5 項目; $\alpha = .78$)。 (b) **自己決定感**: 自己決定感尺度 (桜井, 1993) を用いた (5 件法, 8 項目; $\alpha = .85$)。 (c) **精神的健康**: 特性的自己効力感尺度 (成田, 1995; 5 件法, 23 項目; $\alpha = .90$), 抑うつ性自己評価尺度 (島他, 1985; 4 件法, 20 項目; $\alpha = .91$) を用いた。 (d) **親子関係に対する価値観**: 親子関係の親密さ尺度 (価値観) を用いた (Sugimura et al., 2009; 5 件法, 20 項目)。下位尺度として, 「親密」の 7 項目 ($\alpha = .85$), 「従属」の 7 項目 ($\alpha = .84$), 「甘え」の 6 項目 ($\alpha = .70$) が含まれていた。

結果

ヘリコプターの養育, 親子関係に対する価値観 (親密), ヘリコプターの養育と親密の交互作用項を説明変数とし, 自己決定感, 自己効力感, 抑うつそれぞれのそれぞれを目的変数として重回帰分析を行った。その結果, ヘリコプターの養育と自己決定感に有意な負の関連 ($\beta = -.26, p < .01$), 自己効力感に有意な負の関連 ($\beta = -.09, p < .05$), 抑うつに有意な正の関連 ($\beta = .11, p < .01$) が見られた (Table 1)。

次に, ヘリコプターの養育, 親子関係に対する価値観 (従属), ヘリコプターの養育と従属の交互作用項を説明変数とし, 自己決定感, 自己効力感, 抑うつそれぞれのそれぞれを目的変数として重回帰分

析を行った。その結果, ヘリコプターの養育と自己決定感に有意な負の関連 ($\beta = -.17, p < .01$) が見られた。

最後に, ヘリコプターの養育, 親子関係に対する価値観 (甘え), ヘリコプターの養育と甘えの交互作用項を説明変数とし, 自己決定感, 自己効力感, 抑うつそれぞれのそれぞれを目的変数として重回帰分析を行った。その結果, ヘリコプターの養育と自己決定感に有意な負の関連 ($\beta = -.18, p < .01$) が見られた。いずれの分析でも, ヘリコプターの養育と親子関係の価値観の交互作用と諸変数との間に有意な関連は見られなかった。

考察

親子関係に対する価値観 (親密), ヘリコプターの養育と親密の交互作用項を説明変数とし, 自己決定感, 自己効力感, 抑うつそれぞれのそれぞれを目的変数としたとき, ヘリコプターの養育と自己決定感, 自己効力感に負の関連, 抑うつに正の関連が見られた。また, ヘリコプターの養育, 親子関係に対する価値観 (従属), ヘリコプターの養育と従属の交互作用項を説明変数としたとき, 同様に, ヘリコプターの養育, 親子関係に対する価値観 (甘え), ヘリコプターの養育と甘えの交互作用項を説明変数としたときには, ヘリコプターの養育と自己決定感に負の関連が見られ, 以上の結果は, 一つ目の仮説を一部指示した。このことから, 日本においても, ヘリコプターの養育は, それを受けた子どもの自己決定感や自己効力感を阻害し, 抑うつを引き起こしている可能性がある。

一方, ヘリコプターの養育と親子関係に対する価値観の交互作用は, いずれの変数との間にも有意な関連が見られず, 二つ目の仮説は支持されなかった。このことから親子関係において, 調和的な関係を重視する価値観を持っていたとしても, ヘリコプターの養育を受けると, 自己決定感や精神的健康と否定的な関連を示す可能性が示された。

Table 1

説明変数		目的変数		
		自己決定感	自己効力感	抑うつ
ヘリコプターの養育	β	-.26**	-.09*	.11**
	95%CI	[-.34, .18]	[-.17, -.00]	[.03, .20]
価値観 (親密)	β	.09	.27**	-.23**
	95%CI	[.01, .17]	[.18, .35]	[-.31, -.15]
ヘリコプターの養育×親密	β	.06	.05	-.05
	95%CI	[-.02, .14]	[-.03, .13]	[-.13, .03]
R ²		.06**	.07**	.05**

** $p < .01$, * $p < .05$

(指導教員: 杉村 和美)